

第199回研究科委員会・第303回教員会議 議事要録

日時：令和2年4月8日（水） 13：30～14：55

場所：後援募金記念棟 会議室1-3

議事に先立ち、学類長より危機対策本部会議での検討状況について説明があり、授業の実施方法等の検討をしているが、遠隔授業の準備をお願いしたい（説明会を受けてほしい）、テレワークも可能である、学生との連絡を密にとって落ちこぼれが出ないようにしてほしい、教員も行動に注意してほしい、等がアナウンスされた。

議 題

研究科委員会

[審議事項]

1. 研究科長

(1) 福島県ハイテクプラザ客員教授等の任用について

回収資料に基づき説明され、客員教授1名、客員准教授1名の継続任用が承認された。

(2) 環境放射能学専攻博士後期課程設置に係る教員の資格審査について

資料1に基づく説明の後、環境放射能研究所所長からも業績等も十分であり博士の審査資格もあるとの補足説明がされ、環境放射能研究所運営委員会で承認された授業担当予定教員の資格審査結果が承認された。

(3) 環境放射能学専攻修士課程担当教員の資格審査について

資料2に基づき説明され、環境放射能研究所運営委員会で承認された授業担当予定教員の資格審査結果が承認された。

共生システム理工学専攻会議

[報告事項]

1. 教務委員会

(1) 学生の休学について

博士前期課程1名、後期課程2名の休学について、資料がプロジェクター投影され、報告された。

2. 学生生活委員会

(1) 令和元年度授業料未納による除籍について

資料3に基づき、授業料未納による博士前期課程1名の除籍について報告された。

教員会議

[審議事項]

1. 学類長

(1) 教員の採用について

資料4に基づく学類長からの説明の後、補足として物理・メカトロニクス分野長から、応募資格に他分野との連携や地域貢献を加えた点や、講師もしくは助教の場合は任期付きとし審査によって任期なし雇用形態に移行できる点、給与は特定年俸制となる点、等が説明され、承認された。教育研究院会議に提起して承認を得た後、公募を開始し、採用予定者に年内に通知できるようなスケジュールで進めていくこととなった。

(2) 名誉教授の称号授与について

回収資料に基づく説明の後、物理・メカトロニクス分野長から功績や貢献等に関する補足説明がされ、承認された。

2. 入学試験委員会

(1) 2021年度入学試験の日程について

資料5に基づき前回からの変更点について説明され、了承された。大学院に関しては日程の他、TOEICへの対応についても検討していく必要があるが、時間の関係でメールによる審議や執行部と協議して決めることなども想定されるので了解いただきたいとの説明があった。

3. 教務委員会

(1) 令和2年度非常勤講師計画について

資料6に基づき変更部分について説明され、了承された。

(2) 転学類(転学群)制度の改正について

資料7に基づき、成績評価制度の変更に伴う出願条件(GPA)の変更が説明され、了承された。

[報告事項]

1. 学類長

(1) 令和2年度各種委員会委員名簿について

資料8に基づき各種委員会名簿の最終版が報告された。

2. 入学試験委員会

(1) 令和2年度入学者数について

資料9に基づき報告された。

(2) 入試実施に係る科目登録について

変更のある場合はメールで入試委員長宛にお知らせいただきたい、とアナウンスされた。

3. 財務・施設委員会

(1) プロジェクト室の利用について

資料10に基づき説明があり、空いている部屋について再募集するとアナウンスされた。

4. 教務委員会

(1) 学生の休退学について

資料がプロジェクター投影され、休学6名と退学12名について報告された。退学者についてはその理由についても説明された。

(2) 非正規生(科目等履修生)の辞退について

資料11に基づき、勤務形態等の変更のため辞退する旨報告された。

(3) 令和2年度研究室配属ガイダンスについて

資料12に基づき説明があり、変更後のガイダンスの予定については今後検討していくこと、旧人間支援システム専攻の定員に変更が生じたことが報告された。

(4) 令和2年度コース配属について

資料13に基づき報告された。

(5) 令和2年度編入学生の既修得単位の認定について

資料14に基づき3名の編入学生についての既修得単位の認定結果が報告された。

(6) 令和2年度新入生ガイダンスについて

新型コロナウイルスの影響でガイダンスの日程が変更され、一部を4月8日に実施したこと、残りを4月23日、24日に行うことが報告された。

(7) 令和2年度海外演習の開講について

現在未定の状態であるが、ライブキャンパス等で告知するので希望する学生は注

視してほしいとの報告があった。

(8) 第23回全学教務協議会について

(審議事項)

- ・福島大学試験規則に基づき「病気その他やむを得ない事情」として認めることがある場合の運用の改正について

資料15に基づき、追試験申請に対して現規定では出席時数などの要件が加味されておらず、単位認定されないはずの学生も追試受験が認められる可能性があるため、これを改める改正を行った。

- ・今年度の実施事項と来年度の課題について

資料16に基づき説明された。

令和元年度実施事項として、「教育推進機構と連携した認証評価に係る本学の内部質保証体制の整備」や「授業出席管理システムの導入」などが挙げられた。

令和2年度の課題として、「導入した授業出席管理システムの教務システムとの連携」や、「e-Learning 環境の構築、等災害に強く安定した授業運営方法の模索」などが挙げられた。

これに関連して、BYODシステム構築のための予算申請やSINET接続ノードを福島に持って来られないか、といった意見が出された。

(報告事項)

- ・令和2年度授業日程について

資料17に基づき、新型コロナウイルスの影響で大きく変更になったと報告があった。

- ・LGBTガイドラインの策定について

資料18に基づき、「福島大学における多様な性・性的マイノリティに関する基本理念と対応ガイドライン」が策定されたとの報告があり、氏名の変更やだれでもトイレについて説明された。

- ・優秀初年次レポートの選出について

資料19に基づき、報告およびアドバイザー教員への協力依頼があった。

5. 国際交流センター運営会議

(1) 学生交流協定に基づく学生の派遣について(期間短縮・帰国)

資料20に基づき、報告された。本学類2名の学生の内1名は継続中であり、単位の認定等で不利益にならないように進めてほしいとの意見があった。

6. 学生生活委員会

(1) 令和元年度授業料未納による除籍について

資料3に基づき、3名の未納による除籍の報告があった。

(2) 2020年度学生関係休講措置について

資料21に基づき、新しい申し合わせ書について報告があった。

7. 奨学寄附金等の受入れについて

資料が投影され、奨学寄附金1件、共同研究2件、受託研究1件が報告された。

8. その他

学類長より、研究計画調書の提出について近日中にメールで依頼する、とアナウンスされた。

運営会議

第138回(3月24日開催)報告(前学類長に代わり学類長が資料を基に説明)

- (1) 国立大学法人福島大学と国立研究開発法人日本原子力研究開発機構のクロスアポイントメント制度に関する協定の締結について

- クロスアポイントメント制度に関する変更協定が締結された。
- (2) 学生募集促進等のための「学類長裁量経費」の追加配分に係る報告等について
大学院の定員充足のための学類長裁量経費が追加配分されたが、大幅な定員未充足の結果となってしまった。
 - (3) 令和 2 年度における食農学類の研究室確保について
食農学類の教員研究室として令和 2 年度から新たに使用(借用)する居室について報告があった。
 - (4) 既存施設の有効活用について
学類毎の必要面積・保有面積の状況によると、本学類は保有面積が必要面積に足りていないので、今後必要に応じて要求していく。
 - (5) 福島大学学生ジャーナリスト募集・始動について
新型コロナウイルス対応により状況が激変しているので、今後については不確定である。
 - (6) その他
WEB 給与明細への移行について
学類長より、本学類も 1 0 0 % を目指したいのでご協力いただきたいとの依頼があった。